

●第3期 横浜市地域福祉保健計画「よこはま笑顔プラン」

「第3期 横浜市地域福祉保健計画 概要版」(平成26年3月発行)から抜粋

- 第1期計画及び第2期計画として横浜市が取り組んできたことを踏まえ、第3期計画は平成26年度から平成30年度までの5か年とし、横浜市社会福祉協議会が策定・推進してきた計画である「横浜市地域福祉活動計画」と一体的に策定・推進を行っていきます。(第1期：平成16年度～平成20年度、第2期：平成21年度～25年度)



＜基本理念＞

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる
「よこはま」をみんなで作ろう

基本理念実現のための ＜重要な視点＞

- ① 住民主体と協働による地域福祉保健の推進
- ② 誰もが自分らしく地域で暮らし、共に支えあう社会
(ノーマライゼーション^{*1}、ソーシャルインクルージョン^{*2})
- ③ 自助の力を高める「一人ひとりの健康」を大事にしながら、
誰もが健康にすごせる社会



基本理念の実現に向けた取組



＜総合目標＞

- ① 人と人とのつながりを地域資源の一つとして積み重ねていく意義の浸透
- ② 自助・共助・公助の組み合わせによる誰もが健やかで安心して生活できる地域づくり
- ③ 幅広い市民参加を重視した地域社会全体の活力向上

推進の柱1

地域住民が主役となり
地域課題に取り組むため
の基盤をつくる

推進の柱2

支援を必要とする人が
的確に支援へつながる
仕組みをつくる

推進の柱3

幅広い市民参加から
地域福祉保健の取組が
広がる仕掛けをつくる

*1 ノーマライゼーション：障害のある人が障害のない人と同等に生活し活動できる生活条件（環境や制度）を作り出すこと。

*2 ソーシャルインクルージョン：「社会的包摂」などと訳され、どのような課題のある人たちも排除せずに社会の一員として包み込み、ともに助け合って生きて行こうという考え方。